

故郷（ふるさと）野付の自然 3 3

フクジュソウとエゾエンゴサク



早春の花と言えば、黄色い花のフクジュソウと紫色の花のエゾエンゴサクですね。

そのフクジュソウとエゾエンゴサクの咲き誇る群落にまるで、春の雪が降っているような光景を見かけます。

春の雪の正体は勿論、雪ではなく小さな小さな羽虫です。

その羽虫の名前を調べてみると、ユスリカという名前の昆虫です。ユスリカには日本だけでも1000種類以上いるそうなので、正確には、

ユスリカの仲間という事になりますね。春のこの時期に、一斉に孵化してメスを求めてオスのユスリカたちがたくさん集まるとこの様な光景になるようです。

蚊の様にも見えますので人間に害を与えそうな気もしますが、人間には全くの無害な昆虫で、幼虫時代は川や池の中で有機物を食べ、川の浄化にも寄与してくれています。そして成虫になると数日間で死んでしまう儂い虫でもあります。